

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立網野・丹後緑風高等学校 】

<スポーツ庁テーマ>

1 実践テーマ	【 III 】
2 実施対象者	ボッチャ体験 全校生徒 体操指導等 体操部全部員（1年生男2名 2年生男7名女5名 3年生男4名女5名）
3 展開の形式	本校全生徒がボッチャを体験する。 体操部が地域の小学校に出向き、体操教室・運動補助・演技披露を行う。
4 目標 (ねらい)	(1) スポーツ交流を通して異世代者への理解を深め、共生社会の形成を目指す。 (2) 高校卒業後、ほとんどの生徒が地元を離れて進学をする状況の中で、地域社会の現状を考える機会を掴るとともに、将来的に丹後地域の維持・発展に貢献できる人材を育成する。 (3) 全国平均よりも高齢化が進み、長寿者が多い丹後地域に活力を与え、スポーツ文化の広がりに寄与する人材を育てる。
5 取組内容	(1) ボッチャ体験 第2学年は授業で体験、第3学年はクラスで体験後に学年でボッチャ大会を実施。 クラス体験  第3学年ボッチャ大会（チーム対抗戦）  

(3) 体操部の取組

体操体験、体操教室及び演技会

(11月15日(日)実施)

ア 生徒が様々な世代の方々と関わりながら、リトミック運動の指導を行った。

峰山小学校内、リトミック運動指導の様子



イ 演技参観



ウ 生徒主体で指導を行うとともに、音楽に合わせて全体で様々な運動にチャレンジし、世代間交流の場を設定した。



6主な成果	<p>新型コロナウイルス感染防止対策として密を避け、発声を最小限で実施したが、生徒の振り返りや感想には前向きな意見が多く、ねらいである誰もが互いに人格と個性を尊重し、支えあって共生する社会の実現に主体的に取り組もうとする意識や態度、意欲を養うことができた。</p>
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>新型コロナウイルス感染防止対策を実施しながらどのように実施していくかを相談できる場を設けた。また、学年行事や体育の授業でポッチャ体験を組み込み、アダプテッドスポーツに対する理解を深める場を設けた。</p> <p>体操部の取組では、高校生を中心に運動指導を行えるよう、前年に取り組んだ体操の振り返りや指導手順、安全確認の事前学習時間を設けた。</p> <p>今年度は高齢者の方々の参加を見合わせ、保育園児、小学生、中学生、保護者までの世代で実施した。体操、スポーツでつながる場を設定し、交流と気づきが生まれるように心掛けた。さらに、コミュニケーションが相互に活力を生み出すことに着目し、高校生による運動指導だけではなく、日頃の部活動の成果を披露する演技発表を取り入れた。</p>
8主な課題等	<p>楽しく、また安全にできる運動として昨年まで取り組んできた体操を取り入れたが、触れ合いながらの指導ができないため、運動効果の気づきや正確な運動方法の理解において課題が残った。</p> <p>今後の社会状況の中でも高齢者に参加していただけるように、様々な施設をオンラインでつなぎながら、リモート運動教室を実施する方法も考えていきたい。</p>
9来年度以降 の実施予定	<p>負担のない形での継続的な実施を目指したい。</p>